

大崎町 SDG s 教材検討委員会

大崎町内の教職員によるSDG sに関する教材や授業づくりをこの1年間進めてきました。1月6日(金)に最終回を迎え、各学校が参考となるような計画が完成いたしました。2月に菱田小学校で、授業実践をおこなう予定です。



来年度、各学校において、大崎町の環境への取り組みの理解と未来へ創造力を高めるSDG sに関する授業が充実していくことが期待されます。

まぶの窓おしの庭

No.74

生涯学べる時代は素晴らしい

大崎中学校 校長 竹本 准

小学生から中学生にかけて、人は最も大きく成長する大切な時期でしょう。だから将来日本の社会人として活躍できるように学校で教育を受けることを国民の義務としています。

3世代以上遡った昔は、大工の子は大工に、豆腐屋の子は豆腐屋に、政治家の子は政治家に、と一生続ける仕事が決まっていたものでした。親とは違う仕事に就く子も丁稚奉公から始まるのが普通でした。それから100年たった今はどうでしょうか。事業は幅広く奥深く拡大し、今まで考えられなかった職業が生まれ、IT、AIを駆使した便利で複雑な社会システムの時代になった。少子化、高齢化が進み、多くの人々が100年も生きるようになった。

小、中学生だけでなく、生まれたときから死ぬまで人は成長し続けられるのではないかと、意欲さえあれば私たちは生涯未来志向で前を

向いて生きていけるのではないかと、と大崎の人たちを見ていると思えてくるのです。例えばリサイクル率14年間日本一は本当にすごい。普通できることではない。未来のサーキュラーヴィレッジ構想を理解し協力する住民がすごい。これは誇らしいことであるし、親は子どもに「大切な仕事をしている、世のため人のために一生懸命やっている姿」をもっと見せ、できるときには一緒に仕事をさせてみるのが一番の子育てなのではないかと思えます。親が懸命に働く背中を子どもは敏感に感じ取り、後を追うものですから。人々が生涯のいつでも自由に学習機会を選択し学ぶことができる「生涯学習社会」という素晴らしい時代に私たちはいて、何歳からでもその気になれば学び直しができるのです。嬉しいことではありませんか。